

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業実績【令和2年度】について

1 目的

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設されたもの

2 対象事業

新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業

3 綾川町の交付限度額（令和2年度分）

第1次交付限度額	110,187千円
第2次交付限度額	331,930千円
第3次交付限度額	170,166千円
合計	612,283千円

4 予算配分額

令和2年度配分額	449,824千円
本省繰越額	162,459千円（令和3年度へ）

5 実施事業

別紙のとおり（29事業）

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
1	町単独 事業	あやがわ子育てスマイル応援金	子育て支援課 健康福祉課	Ⅱ-4. 生活 に困って いる世帯や個 人への支援	R2.5	R2.8	147,280,000	144,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども園の登園自粛、学校・養護学校の休校、障害福祉サービス通所事業所の通所自粛が長期化している中、子育て世帯への経済的負担の軽減を図る目的で応援金を支給 <ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当受給者への給付 50,000円／対象児童1人(47人) ・児童手当／ひとり親家庭等への給付 <ul style="list-style-type: none"> 0～15歳 40,000円／人 16～18歳 30,000円／人 (計1,923世帯) ひとり親家庭等 50,000円／対象児童1人(230世帯) 	学校の臨時休校やこども園等の登園自粛期間中、家庭で子どもを保育することにより、仕事が制限され収入が減る世帯やどうしても仕事を休めない世帯が有料保育等を利用すること等で経済的負担が大きくなっていった。そのような状況下で、18歳以下の児童に対する応援金は、家庭の負担を軽減する上で一定の効果があった。また、特別児童扶養手当受給者への給付も対象者全員に支給できた。
2	町単独 事業	新型コロナウイルス感染拡大防止協力金	経済課	Ⅱ-3. 事業 継続に困っ ている中小・ 小規模事業 者等への支 援	R2.5	R2.8	13,900,000	13,900,000	<ul style="list-style-type: none"> ●香川県からの休業等の要請(協力依頼)に協力し、「香川県感染拡大防止協力金」の支給決定の通知を受けた事業者に対し、香川県が支給する香川県感染拡大防止協力金に上乗せ支給 <ul style="list-style-type: none"> ・県の休業要請に協力した事業者 200,000円×48事業者=9,600,000円 ・県の時短要請に協力した食事提供施設の事業者 100,000円×32事業者=3,200,000円 ・県の休業要請に協力したうどん店 100,000円×11事業者=1,100,000円 	事業者の休業・時短営業への協力を後押しし、店舗等での三密防止、県外からの観光客等人流抑制に効果を発揮し、町内での感染拡大防止につながった。町からの支援により、休業後及び、時短営業後の事業再開にも効果があった。
3	町単独 事業	あやがわスマイル応援券発行事業	経済課	Ⅲ-2. 地域 経済の活性 化	R2.8	R3.3	712,800,000	88,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ●購入額にプレミアム分(20%)を上乗せした独自の商品券を発行 <ul style="list-style-type: none"> ・商品券発行部数712,800枚 ・プレミアム分118,800,000円 うち令和2年度の換金分88,524,167円 ・全取扱店152事業所のうち換金を行った事業所数 110事業所 72.3% 	不要不急の外出自粛や三つの密を避ける行動により、外出の機会が減少し、消費の減退となっていたので、プレミアムにより、購買意欲を高め、消費拡大が図られ、また、町内でのみ使用できる商品券の発行により、町内事業者の活性化にも寄与した。全取扱店155事業所のうち、換金を行った事業所数は117事業所(75.5%)であり、貯蓄に回ることなく広く町内店舗で利用された。 【事業全体】 <ul style="list-style-type: none"> ・商品券発行部数 719,964枚(59,997セット) ・プレミアム分 119,994,000円 ・換金を行った事業所数 117 ・換金総額 718,288,000円

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
4	町単独 事業	中小企業者等事業 継続支援臨時給付 金	経済課	Ⅱ-3. 事業 継続に困っ ている中小・ 小規模事業 者等への支 援	R2.6	R3.3	55,000,000	55,000,000	●連続する3ヶ月間の売上が、前年比30%以上減少している事業者へ事業継続のための給付金を支給 ・200,000円×275事業者=55,000,000円	緊急事態宣言の発令や休業要請、時短営業要請などにより社会経済が落ち込んでいる中での給付金の支給により、経営の悪化を支援し、事業継続に寄与した。 【業種ごとの割合】 ・飲食業 12.7% ・建設業 11.2% ・小売業 5.8% ・製造業 5.8% ・その他 64.5%
5	町単独 事業	情報通信機器購入 費補助金	学校教育課	Ⅰ-8. 学校 の臨時休業 等を円滑に 進めるため の環境整備	R2.6	R3.3	115,000	115,000	●オンライン学習等に対応できるようWi-Fi環境のない家庭に対して助成金を支給 ・13世帯13人 115,000円 小学校10世帯86,000円 中学校 3世帯29,000円	Wi-Fi環境のない家庭に整備をしオンライン学習等に対応する準備ができた。 6月以降で学校が休校にならなかったため、タブレット端末を持ち帰りは実施しておらず、検証はできていない。 令和3年度も事業を継続し、新小学1年生や令和2年度整備できていない家庭へ制度を再周知した。
6	町単独 事業	小中学校情報機器 整備事業	学校教育課	Ⅰ-8. 学校 の臨時休業 等を円滑に 進めるため の環境整備	R2.9	R3.3	38,858,700	30,993,000	●国が進めるGIGAスクール構想にかかる1人1台PC端末の実現 ・3人に2台分について国からの定額補助(45,000円/台)への上乗せ分 8,900円×1,233台=10,973,700円 ・その他端末に関する経費 ライセンス代等 9,130円×台数1,850台=16,890,500円 充電用保管庫 187,000円×台数58台=10,846,000円 保管庫組立・設置費用 148,500円	1人1台タブレット端末が整備でき、授業で活用した。納品が2月末であったため、本格的な活用は、令和3年度になった。 令和3年度は、本格的に全学校で活用が始まり、調べ学習やドリル学習、写真を撮影など活用した。不登校児童生徒への貸出やコロナ感染等で休校している児童生徒への貸出を実施し、ゲーグルミートでつないで、授業に参加ができた。
7	町単独 事業	育英資金受給者緊 急支援事業	学校教育課	Ⅱ-4. 生活 に困ってい る世帯や個 人への支援	R2.5	R3.3	2,100,000	2,100,000	●生活資金などに困窮している学生へ生活支援金を支給 ・大学学資 30,000円×3ヶ月×22人=1,980,000円 ・高校学資 20,000円×3ヶ月×2人=120,000円	新型コロナウイルス感染症の拡大によりアルバイトができず生活資金などに困窮していた学生の生活費の助成ができ、家庭からの仕送りの助けになった。 緊急事態宣言発出後1月以内に振込を行い、その後も延長されるごとに追加の支援金を早急に振込を行うなど効果的な支援となった。

No.	補助単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費(円)	臨時交付金充当額(円)	事業実績	事業の効果・検証
8	町単独事業	緊急学生支援金	学校教育課	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.7	R3.3	9,510,000	9,510,000	<ul style="list-style-type: none"> ●生活資金などに困窮している学生へ生活支援金を支給 <ul style="list-style-type: none"> ・大学学資 30,000円×3ヶ月×93人=8,370,000円 ・高校学資 20,000円×3ヶ月×2人=120,000円 ・専修学校学資 20,000円×3ヶ月×17人=1,020,000円 	新型コロナウイルス感染症の拡大によりアルバイトができず生活資金などに困窮していた学生の生活費の助成ができ、家庭からの仕送りの助けになった。 周知を広報・綾川町HPで行い、周知開始から概ね1ヶ月以内に全申請件数のうち約半数の申請があり、申請から2～3週間ほどで申請者への振り込みを行うなど効果的な支援となった。
9	国庫補助事業	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4	R3.3	11,469,565	4,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ●学校再開に伴う感染症対策として保健衛生用品等を購入し各学校への配備を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実績額 11,469,565円 ・国補助 4,000,000円(1/2) (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 綾上小学校 1,077,189円 昭和小学校 1,216,287円 陶小学校 1,255,873円 滝宮小学校 1,691,278円 羽床小学校 1,445,273円 綾上中学校 1,948,465円 綾南中学校 2,835,200円 	各小中学校に、非接触式体温計や飛沫防止パネル等保健衛生用品を整備したことで、新型コロナウイルス感染症を予防することができ、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた結果、すべての学校において新型コロナウイルス感染者を出すことなく運営することができた。
10	町単独事業	修学旅行補助事業	学校教育課	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.9	R3.3	47,900	40,000	<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行の中止に伴うキャンセル料を補助 <ul style="list-style-type: none"> 綾南中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・9/15(4名分) 25,460円 ・9/16(5名分) 22,440円 	急に発熱したり、新型コロナウイルス感染症が不安で修学旅行に参加できなかった生徒の経済的負担が解消された。
11	町単独事業	綾上小学校児童送迎バス業務委託(特別便)	学校教育課	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.6	R3.3	11,586,740	10,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ●密集・密接を防ぎ、児童の感染リスクの軽減を図るため、スクールバスの特別便を運行(8月～3月) <ul style="list-style-type: none"> ・往復 85,910円×134日=11,511,940円 ・片道 74,800円×1日=74,800円 ・合計 11,586,740円 【運行バス】 (追加便前)各路線1台 <ul style="list-style-type: none"> (1)粉所線 中型バス(1台37乗り) (2)西分線 中型バス(1台37乗り) (3)羽床上線 中型バス(1台37乗り) (追加便後)各路線2台 <ul style="list-style-type: none"> (1)粉所線 中型バス(1台37乗り) 小型バス(1台25乗り) (2)西分線 中型バス(1台37乗り) 中型バス(1台28乗り) (3)羽床上線 中型バス(1台37乗り) 小型バス(1台25乗り) 	各路線の登下校時に特別便を追加。密集・密接を防ぎ、児童の感染リスクを軽減した。 【運行人数】 (1)粉所線(乗車人数23人) 中型バス1台13人 小型バス1台10人 (2)西分線(乗車人数33人) 中型バス1台20人 中型バス1台13人 (3)羽床上線(乗車人数27人) 中型バス1台17人 小型バス1台10人

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
12	町単独 事業	あやがわ赤ちゃん 応援特別給付金	健康福祉課	Ⅱ-4. 生活 に困ってい る世帯や個 人への支援	R2.9	R3.3	10,300,000	10,300,000	●特別定額給付金の基準日以降に出生した赤ちゃんを対象に10万円を支給 100,000円×103人=10,300,000円	該当する乳幼児の保護者全員に給付金を支給することができた。それにより経済支援、子育て支援を図ることができた。
13	町単独 事業	インフルエンザ予 防接種促進対策	健康福祉課	Ⅰ-3. 医療 提供体制の 強化	R2.9	R3.3	21,449,430	16,000,000	●インフルエンザ罹患・重症化を予防し、同時流行の抑制を図るため、インフルエンザ予防接種費用の助成を拡大 【コロナ対応分】 ・65歳以上 1,000円×6,365人=6,365,000円 ・生後6ヶ月～中学3年生 1回目2,500円×1,684人=4,210,000円 2回目1,500円×931人=1,396,500円 ・高校1年生～高校3年生相当 4,000円×233人=932,000円 ・高校卒業～59歳以下 2,500円×2,290人=5,725,000円 ・60歳～64歳 2,500円×566人=1,415,000円 2,500円を超える部分 630,080円 ・県外及び町外の医療機関での接種 775,850円	・65歳以上接種者：自己負担(従来1,000円)を無料化したことにより、前年度比950人増 ・生後6ヶ月～中学3年生接種者：(従来1,500円助成を)無料化により530人増 ・高校生以上64歳までは従来助成がなく、接種者数の比較はできないが、助成拡大や町外接種の償還払い実施により接種者数の増加は大きい。 全国的にインフルエンザ流行が見られなかったため、効果検証は難しいが接種者数増加に寄与している。
14	町単独 事業	あんしんタクシーチ ケット事業	健康福祉課	Ⅰ-1. マス ク・消毒液 等の確保	R2.9	R3.3	3,256,000	2,500,000	●新型コロナウイルスに感染した場合に重症化しやすい後期高齢者や障害者、妊産婦について安全な移動支援を目的にタクシーチケットを配付 ・75歳に到達する者及び障害者手帳を有する者 500円×6,248枚=3,124,000円 ・出生及び妊婦の届出をした者 500円×264枚=132,000円	対象者には個別に事業の案内通知を行い、半数近い方からの利用申請があった。申請者にタクシーチケットを郵送し、町内のタクシー事業者の乗車の際に利用できるようにした。利用状況としては、約半数近い方の利用があった。移動目的としては、通院や買物の他、友人との外出などといった状況であり、安心して外出ができると好評であった。また町内のタクシー事業者からも経済の活性化になったと好評を得た。
15	町単独 事業	職員インフルエン ザ予防接種事業	総務課	Ⅰ-3. 医療 提供体制の 強化	R2.9	R3.1	985,000	724,000	●新型コロナウイルスとの二重の流行を抑止することで行政機能を維持するとともに医療機関への負担軽減を図るため、福利厚生事業として職員のインフルエンザ予防接種を実施 ・正規職員(市町村共済) 2,500円×151人=377,500円 ・正規職員(公立学校共済) 2,500円×2人=5,000円 ・正規職員(再任用) 2,500円×5人=12,500円 ・会計年度任用職員 2,500円×236人=590,000円	インフルエンザ予防接種率が向上したことにより、職場内でのインフルエンザの大規模な感染を防ぐことができた。 今後も、予防接種とマスク着用や消毒などの感染防止対策の併用を啓発することにより、職場内の感染防止対策を徹底し、職員の健康管理に努めるとともに、行政機能の維持を図っていく。

No.	補助 単独 事業	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
16	町単独 事業	新しい生活様式対 応利用促進事業補助 金	総務課	Ⅲ-1. 観 光・運輸業、 飲食業、イ ベント・エン ターテインメ ント事業等 に対する支 援	R2.9	R3.4以降	816,000	816,000	●新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式 対応利用促進を図るため交通事業者を支援 高松琴平電気鉄道株式会社 816,000円	・事業者は放送装置の多言語化により、外国 人観光客と駅員の接触機会の減少を図っ た。 ・コロナ禍におけるダイヤ改正、過密状態の 緩和について、事業者は新聞折込(11月20 日 四国新聞)で周知ができた。その他、事 業者は鉄道利用の促進のため伏石駅周辺で ポスティングを行い、各駅に時刻表を設置し た(11月9日から19日)。
17	町単独 事業	感染防止運行支援 事業補助金	総務課	Ⅲ-1. 観 光・運輸業、 飲食業、イ ベント・エン ターテインメ ント事業等	R2.9	R3.3	5,000,000	5,000,000	●新型コロナウイルスの影響による減便の解消 を目的とし、復便化を実施することにより、三密の 防止を図るため、通事業者を支援 高松琴平電気鉄道株式会社 5,000,000円	事業者は令和2年4月から感染拡大以前の 64%まで減便していたところ、感染拡大以前 の90%まで運行本数を増便し、輸送時の過 密状態の緩和に役立った。
18	町単独 事業	新型コロナウイルス 対策用消耗品	総務課	I-1. マス ク・消毒液 等の確保	R2.9	R3.3	5,894,900	5,800,000	●新型コロナウイルス感染症対策として、避難所 におけるスペースを確保するため、間仕切りテ ントと段ボールベッドを配備 ・間仕切りテント 1人用 8,426円×350個=2,949,100円 2人用 9,680円×70個=677,600円 ※指定避難所11ヶ所へ配備 ・段ボールベッド 5,500円×230個=1,265,000円 ※指定避難所11ヶ所へ配備 ・エアーマット 52,800円×19箱(1箱60本)=1,003,200円 ※指定避難所19ヶ所へ配備	配備後に避難所の開設には至っていない が、間仕切りテント、段ボールベッド、エアー マットを配備したことで飛沫防止などの避難 所における感染症対策を強化することができ た。 また、それらの配備品の必要性や設置方法 を学ぶ訓練を令和3年度に避難所運営スタッ フ対象に5回、小学校の防災授業で1回、住 民対象に1回開催することができ、コロナ禍で の避難所運営について理解を深めることが できた。
19	町単独 事業	避難所用防災倉庫 設置工事	総務課	I-1. マス ク・消毒液 等の確保	R2.9	R3.3	13,926,000	13,900,000	●避難所における三密防止のためのスペースを 確保することにより、小学校等の災害の種類と規 模に応じて開設する避難所も使用する可能性が 高いため、開設に支障がないよう備蓄品を保管し ておく防災倉庫を新設 ・防災倉庫 13,926,000円 ※指定避難所7ヶ所に設置	体育館がある避難所のうち、体育館内で保 管スペースが確保できない7ヶ所の避難所に 防災倉庫を設置したことにより、コロナ禍の 避難所で必要となる間仕切りテント、段ボ ールベッド、エアーマット、スリッパを備蓄す ることができ、実際に避難所として開設するこ とになった場合でも即座に新型コロナウイルス 感染症に対応した避難所の開設ができるよう になった。 今後は備蓄品目を増やしていき、適切に管 理していく予定である。
20	町単独 事業	サーマルカメラ購 入事業	陶病院	I-3. 医療 提供体制の 強化	R2.9	R3.1	913,000	910,000	●新型コロナウイルス感染症対策として来院者の 体温を速やかに測定することで発熱者の入場を 防ぐため、サーマルカメラを設置 サーマルカメラシステム 913,000円×1式=913,000円 (ドーム式×1台、タブレット式×2台) ※綾川町国民健康保険陶病院に設置	病院エントランスにドーム式検温器を設置し 来院患者全ての検温を行うことで、院外にお ける発熱外来の簡易トリアージを行うことが 出来ている。また、関係者用入口にタブレッ ト式検温器を設置し、体調不良者からのウイル ス侵入を防ぐことで医療従事者等の院内感 染を未然に防ぐ効果を発揮している。

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
21	町単独 事業	避難所用ラップトイ レ購入事業	総務課	①-I-1. マ スク・消毒液 等の確保	R3.1	R3.3	5,247,000	5,200,000	●新型コロナウイルス感染症対策として、避難ス ペースと専用スペースの動線を区分するため、 ラップ式トイレを配備 ラップ式トイレ291,500円×9ヶ所×2台=5,247,000 円 ※指定避難所9ヶ所の配備	ラップ式トイレの導入により、訓練で課題に なっていた避難スペースと専用スペースの動 線を区分することができるようになり、導入し た9ヶ所すべての避難所でコロナ禍の避難所 運営に対応できるようになった。 また、令和3年12月に開催した住民対象の避 難所開設訓練では実演等を行い、参加者に も広く周知することができた。
22	町単独 事業	新型コロナウイル ス対策用消耗品購 入事業(非接触式 体温計)	総務課	①-I-1. マ スク・消毒液 等の確保	R3.1	R3.3	760,320	700,000	●新型コロナウイルス感染症対策として、自主防 災組織に非接触式体温計を配備 非接触式体温計 6,336円×120本=760,320円 ※自主防災組織120団体に配備	これまでも体温計を配備していたが、コロナ 禍での健康チェックに対応するため自主防災 組織に非接触式体温計を配備した。 普段の会合等でも活用するなど、いざとい うときに使用できる取り組みを実施している組 織もあるなど感染症対策の強化に繋がって いる。
23	国庫補 助事業	学校臨時休業対策 費補助金	学校教育課	①-I-8. 学校の臨時 休業等を円 滑に進める ための環境 整備	R2.4	R2.6	789,902	197,000	●学校臨時休業に伴い、事業者に対して既に発 注されていた食材等に係る経費を補助 【3月分にかかる費用】 ・実績額 789,902円 ・国補助 592,000円(3/4) (内訳) 綾上小学校 56,824円 昭和小学校 109,386円 陶小学校 140,817円 滝宮小学校 163,902円 羽床小学校 35,534円 綾上中学校 27,913円 綾南中学校 197,770円 共同調理場 57,752円	事業者に対して既に発注されていた食材に 係る違約金及び購入した食材の処分に要し た経費に補助金を充当することにより、給食 費から支出をすることなく、保護者負担の軽 減に繋がった。
24	町単独 事業	学校臨時休業対策 事業	学校教育課	①-I-8. 学校の臨時 休業等を円 滑に進める ための環境 整備	R2.5	R2.7	1,444,593	1,444,000	●●学校臨時休業に伴い、事業者に対して既に 発注されていた食材等に係る経費を補助 【4～5月分にかかる費用】 ・実績額 1,444,593円 (内訳) 綾上小学校 96,755円 昭和小学校 196,771円 陶小学校 276,738円 滝宮小学校 310,442円 羽床小学校 61,519円 綾上中学校 57,359円 綾南中学校 367,969円 共同調理場 77,037円	事業者に対して既に発注されていた食材に 係る違約金及び購入した食材の処分に要し た経費に補助金を充当することにより、給食 費から支出をすることなく、保護者負担の軽減 に繋がった。

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
25	国庫補 助事業	子ども・子育て支援 交付金	子育て支援課	①-I-8. 学校の臨時 休業等を円 滑に進める ための環境 整備	R2.5	R3.3	4,829,555	1,105,000	<p>●新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により放課後児童クラブを開設するために要した経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績額 4,825,492円 ・国補助 1,105,000円(1/3) ・県補助 1,105,000円(1/3) <p>(内訳)</p> <p>放課後児童クラブ 5ヶ所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休業時特別開所支援事業 1,909,986円 ・臨時休業時特別開所人材確保支援事業 1,834,919円 <p>※学校の臨時休業により開設した日数:31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料免除事業 1,084,650円 <p>※利用料減免対象者:202人</p>	<p>学校の臨時休校期間中、どうしても仕事を休めない世帯が家庭で子育てをすることは負担が大きくなっており、そのような状況下で、放課後児童クラブを開設したことは、子育て世帯の負担を軽減する上で大きい効果があった。</p> <p>また、利用自粛をしていただいた家庭に対し、利用料の減免措置を行うことで、家庭の経済的負担を抑えることができた。</p>
26	町単 独 事業	こども園用加湿機 能付空気清浄機整 備事業	子育て支援課	①-I-1. マ スク・消毒液 等の確保	R3.1	R3.3	5,046,800	5,000,000	<p>●新型コロナウイルス感染症対策として、こども園の保育室・遊戯室・職員室等に加湿機能付空気清浄機を整備</p> <p>昭和こども園 40,700円×32台=1,302,400円</p> <p>陶こども園 40,700円×22台=895,400円</p> <p>滝宮こども園 40,700円×32台=1,302,400円</p> <p>羽床こども園 40,700円×12台=488,400円</p> <p>山田こども園 40,700円×16台=651,200円</p> <p>羽床上こども園 40,700円×10台=407,000円</p>	<p>こども園の保育室・遊戯室・職員室等に加湿機能付空気清浄機を整備することで、感染症対策を強化でき、全てのこども園において新型コロナウイルス感染者を出すことなく運営することができた。</p>
27	町単 独 事業	あやがわ子育てス マイル応援金	子育て支援課	①-II-4. 生活に困っ ている世帯 や個人への 支援	R3.1	R3.3	17,300,000	17,300,000	<p>●新型コロナウイルス感染症により影響を受けているひとり親家庭への経済的負担の軽減を図るため、応援金を支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等(238世帯) <p>50,000円×346人=17,300,000円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、特に生活が困窮していたひとり親家庭に対して、2回目の応援金として、子どもの進学・進級を迎える時期(3月)に支給することで、ひとり親家庭の経済的負担を軽減することができた。</p>

No.	補助 単独	交付対象事業の名称	担当課	経済対策と の関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業の効果・検証
28	町単独 事業	育英資金受給者緊急 支援事業	学校教育課	①-Ⅱ-4. 生活に困っ ている世帯 や個人への 支援	R3.1	R3.3	930,000	930,000	●緊急事態宣言が発令された都府県の学校に在 学している学生へ生活支援金を支給 ・大学学資 30,000円×3ヶ月×9人=810,000円 30,000円×4ヶ月×1人=120,000円	新型コロナウイルス感染症の拡大によりアル バイトができず生活資金などに困窮していた 学生の生活費の助成ができ、家庭からの仕 送りの助けになった。 緊急事態宣言発出後1月以内に振込を行 い、その後も延長されるごとに追加の支援金 を早急に振込を行うなど効果的な支援となっ た。
29	町単独 事業	緊急学生支援金	学校教育課	①-Ⅱ-4. 生活に困っ ている世帯 や個人への 支援	R3.1	R3.3	4,340,000	4,340,000	●緊急事態宣言が発令された都府県の学校に在 学している学生へ生活支援金を支給 ・大学学資 30,000円×3ヶ月×30人=2,700,000円 30,000円×4ヶ月×7人=840,000円 ・専修学校学資 20,000円×3ヶ月×12人=720,000円 20,000円×4ヶ月×1人=80,000円	新型コロナウイルス感染症の拡大によりアル バイトができず生活資金などに困窮していた 学生の生活費の助成ができ、家庭からの仕 送りの助けになった。 周知を広報・綾川町HPで行い、周知開始か ら概ね1ヶ月以内に全申請件数のうち約半数 の申請があり、申請から2~3週間ほどで申 請者への振り込みを行うなど効果的な支援と なった。
合 計							1,105,896,405	449,824,000		